

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 事業名	モンゴル国ドルノゴビ県の官民連携による未処理污水改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ドルノゴビ県では、集めた污水を平原にある污水溜めの池（ラグーン）に未処理のまま流されているため、適切な污水処理が実施されず、人体への健康被害等が懸念されている。また污水処理に関しては、海外の協力（旧ソ連）により行われていたため、知識や経験を持つ人材が少なく、計画・設計された施設が適切であるか判断できる技術者がいないことが課題となっている。そのような状況の中、ドルノゴビ県では適切な污水処理の実施による水環境の改善に対して意識が高まっており、2011年に友好協定を締結して以降、技術支援を行ってきた静岡県知見やノウハウを生かした下水処理関連人材の能力強化が望まれている。
4. プロジェクト目標	ドルノゴビ県庁、チャンダマン・イルチ公社及び建設都市計画省ドルノゴビ土地政策計画局の下水道関係技術者（以下、「下水道関係技術者」という）が小規模な污水処理施設の計画・設計、設計内容確認、施工監理、運転・維持管理及び住民への環境教育を実践できるようになる
5. 対象地域	ドルノゴビ県
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	直接裨益者：ドルノゴビ県庁、チャンダマン・イルチ公社及び建設都市計画省ドルノゴビ土地政策計画局の下水道関係技術者 約49人、 モンゴル国（国機関）及びモンゴル国内21県1市の下水道関係技術者 約50人 間接受益者：環境教育計画に基づき啓発活動を実施した地区の住民世帯数 約1万世帯
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	〈アウトプット〉 1. 下水道関係技術者が、小規模な污水処理施設に対し、設置のための基礎的な計画・設計・設計内容確認、施工監理、運転・維持管理の各方法を理解する 2. 下水道関係技術者が污水処理施設にかかる日本の水処理製品の機能性や技術を習得する 3. 下水道関係技術者が県内の下水道事業実施地域又は計画地域の住民の下水道の使い方について、環境教育計画に基づき定期的に啓発活動を実践できる 4. 下水道関係技術者（国・県・ウランバートル市）が污水処理事例やリスク情報をモンゴル国内の他県と共有、議論できる場をつくる 〈活動〉 1-1：建設工事を最初に着手予定のイフヘト郡を始めとした下水処理場建設予定の4地区と、新たに建設されたサインシャンド下水処理場において、下水道に関する施設、設備、住民の意識等に関するベースライン調査を実施する 1-2：下水道関係技術者に対して、下水道による污水処理施設の計画・設計・設計内容確認及び施工監理のセミナーや研修を実施する 1-3：4地区における設計内容の見直しができるように、下水道関係技術者に対して実習や技術指導を行い、各種チェックリスト・点検記録簿を作成していく。 1-4：下水道関係技術者に対して、污水処理施設の運転・維持管理に関するセミナーや研修を実施する 2-1：下水道関係技術者に対して、日本国内の企業等との情報交換セミナーを開催する 2-2：下水道関係技術者と日本国内の企業等と製品や技術の情報共有をする場を設定する 3-1：ベースライン調査の結果を踏まえ、ドルノゴビ県全域を対象とした環境教育計画の原案を策定する 3-2：下水道関係技術者に対して、住民に下水道の正しい使い方を教える教材の作成支援を行う 3-3：下水道関係技術者に対して、住民への啓発活動及び環境教育の手法の研修を行う 3-4：下水道関係技術者が住民に対して行った啓発活動のモニタリングを実施する 3-5：モニタリングの結果を踏まえ、環境教育計画を策定完了する 4-1：ドルノゴビ県とモンゴル国内の他県の技術者が事例などの共有や情報交換を行うための研修会を開催する 4-2：ドルノゴビ県とモンゴル国内他県の技術者の継続的な連携に向けて、担当者名簿を作成する
8. 実施期間	（西暦）2021年10月～2024年2月（2年3ヵ月）
9. 事業費概算額	51,510千円
10. 事業の実施体制	静岡県職員、下水道関係専門家、民間企業
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体名）	静岡県
2. 活動内容	静岡県の下水道事業等の実施、静岡県内市町の下水道等の整備指導